

校長挨拶



小平市立上水中学校長 齋藤 信之

開校から46年目となる令和3年度が始まりました。

新型コロナウイルスの影響で、新しい生活様式の中、教育活動を実践しておりますが、特段の御理解と御協力をいただきまして感謝申し上げます。

このような状況で例年の形ではできませんでしたが、4月6日（火）の始業式（第3学年113名、第2学年111名）に続き、7日（水）には、入学式（新入生91名）が行われ、全校生徒311名でのスタートを切りました。

本校は、これまでの歴史の中で、教職員、保護者、地域の方々が三位一体となって生徒たちを育んできました。その伝統を守りつつ、さらに充実・発展させるよう教職員が一丸となって努力し、本校の教育目標の具現化を図ります。

生徒には「当たり前のことを当たり前にする」ことを基本姿勢として、さらにレベルアップした行動がとれるように期待しています。

また、「上級生を手本」にしながら、先輩があこがれの存在である学校です。新入生も、少しずつ本校の生活に慣れていき、上水中の生徒であるという誇りと自覚をもって、中学校生活を過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、今後とも上水中生を温かい目で見守り、そして、時には厳しく指導していただきたいと思います。今年度も御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

